

特殊車両における今之浦川橋の通行について

平成 29 年度に実施した橋梁点検の結果、重量算定における算定基準変更の必要性が生じました。

橋梁の安全が確保されるまでは、特殊車両オンライン算定システムにより今之浦川橋が D 条件と判定されている車両についても、当所に申請、協議のあった経路に今之浦川橋が含まれる場合、協議内容に係わらず個別審査いたします。

これによりオンライン算定結果と審査結果に齟齬が生じる場合があります、通行者の皆様には御迷惑をお掛けいたしますが、橋梁の構造の保全と通行車両の安全性確保のため、必要な措置として、御理解頂きますようお願いいたします。

今之浦川橋を通行される経路で、通行に関して疑義が生じた際には袋井土木事務所維持管理課特殊車両係（TEL：0538-42-3215）まで御連絡ください。

暫定的な対応として上記のとおり運用させていただきますが、今後の情報は随時HP上に記載いたします。

審査基準変更の概要

道路情報便覧 橋梁箇所詳細データリスト ⑭床版K値 k4を0.80とする。

※今後の橋梁の状態に拠っては更に補正値を低くする可能性もあります。

訂正前

訂正前

様式 7-1 2/2

主桁 K 値	主桁支間 l (m)	主桁間隔 (m)※	主桁本数 (本)※	主桁支間 l (m)	主桁間隔 (m)	主桁本数 (本)	車				連結車				
							最遠軸距6.5m以下		最遠軸距6.5m超		最遠軸距15m以下		最遠軸距15m超		
							条件A・B	条件C・D	条件A・B	条件C・D	条件A・B	条件C・D	条件A・B	条件C・D	
k1※1	最小	23	1.8	4				0.85	0.57	0.87	0.64	0.96	0.71	1.00	0.75
	中間							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	最大							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	k1採用値 (最小値) 訂正							0.78	0.48	0.87	0.62	0.96	0.68	1.00	0.75
k2	応力度に関する補正係数									1.00	訂正				
k3	路面状況に関する補正係数									1.00	訂正				
k4	橋梁の腐食・損傷等の程度等による断面の過不足等に関する補正係数									1.00	訂正				
k5	交通状況および将来の供用期待年数等に関する補正係数									1.21	訂正				
主桁 K 値 (k1×k2×k3×k4×k5) 訂正							0.94	0.58	1.05	0.75	1.16	0.82	1.21	0.90	

指定道路内の橋梁は、A・B条件（単車の最遠軸距6.5m以下の条件A・B除く。）において主桁K値が指定道路の条件を満足しているか必ず確認すること。

⑬床版材料 1.鋼系 ②コンクリート系 3.その他

⑬床版 K 値

床版 K 値	単軌および連続版 (m)	片持 (m)	単軌および連続版 (m)		単軌及び連続版					
			訂正		条件A~C	条件D	条件A~C			
			訂正	正	条件A~C	条件D	条件A~C			
k1※2	上段	1.3	0.3			1.12	0.81	1.17		
	下段					0.00	0.00	0.00		
	k1採用値 (最小値) 訂正							1.12	0.81	1.17
k2	応力度に関する補正係数						1.00	訂正		
k3	路面状況に関する補正係数						1.00	⑫主桁欄記入補正係数。		
k4	橋梁の腐食・損傷等の程度等による断面の過不足等に関する補正係数						0.90	←0.80		
k5	交通状況および将来の供用期待年数等に関する補正係数						1.21	⑫主桁欄記入補正係数。		
床版 K 値 (k1×k2×k3×k4×k5) 訂正							1.21	0.88	1.27	

指定道路内の橋梁は、A~C条件において床版K値が指定道路の条件を満足しているか必ず確認すること。
「※」印：入力任意の項目です。（橋梁台帳等から読み取れない場合等）

重さ指定道路内のK値チェックを行わない。
*重さ指定道路は下表の条件を満たしていないか確認すること。
*また、2.0以下(重車制限)が掛かっていないことを確認すること。

表5-18 新規橋車が通行可能となるK値

部材	車種	最遠軸距	通行条件	K値
主桁	単車	d>6.5m	A・B	0.97以上
	連結車	d≤1.5m	A・B	1.15以上
床版	-	d>1.5m	A~C	0.98以上

訂正後

訂正後

様式7-1 2/2

⑫主桁K値

k1※1	主桁支間l (m)	主桁間隔 (m)※	主桁本数 (本)※	主桁支間l (m)			車				連結車			
				訂	正	訂	最遠軸距6.5m以下		最遠軸距6.5m超		最遠軸距15m以下		最遠軸距15m超	
							条件A・B	条件C・D	条件A・B	条件C・D	条件A・B	条件C・D	条件A・B	条件C・D
最小	23	1.8	4	23	1.8	4	0.85	0.57	0.87	0.64	0.96	0.71	1.00	0.75
中間							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
最大							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
k1採用値 (最小値)							0.78	0.48	0.87	0.62	0.96	0.68	1.00	0.75
訂正							0.85	0.57	0.87	0.64	0.96	0.71	1.00	0.75
k2	応力度に関する補正係数								1.00	訂正	1.00			
k3	路面状況に関する補正係数								1.00	訂正	1.00			
k4	橋梁の腐食・損傷等の程度等による断面の過不足等に関する補正係数								1.00	訂正	1.00			
k5	交通状況および将来の供用期待年数等に関する補正係数								1.21	訂正	1.11			
主桁K値 (k1×k2×k3×k4×k5)							0.94	0.58	1.05	0.75	1.16	0.82	1.21	0.90
訂正							0.94	0.63	0.96	0.71	1.06	0.78	1.11	0.83

指定道路内の橋梁は、A・B条件（単車最遠軸距6.5m以下の条件A・Bを除く。）において主桁K値が指定道路の条件を満足しているか必ず確認すること。

⑬床版材料 1.鋼系 2.コンクリート系 3.その他

⑬床版K値

k1※2	単純および連続版 (m)	片持 (m)	単純および連続版 (m)		単純及び連続版		片持 (m)		
			訂	正	条件A~C			条件A~C	
					条件A~C	条件D			
上段	1.3	0.3	1.3	0.3	1.12	0.81	1.17		
下段					0.00	0.00	0.00		
k1採用値 (最小値)					1.12	0.81	1.17		
訂正					1.12	0.81	1.17		
k2	応力度に関する補正係数						1.00	訂正	1.00
k3	路面状況に関する補正係数						1.00	⑫主桁欄記入補正係数。	
k4	橋梁の腐食・損傷等の程度等による断面の過不足等に関する補正係数						0.90	訂正	0.80
k5	交通状況および将来の供用期待年数等に関する補正係数						1.21	⑫主桁欄記入補正係数。	
床版K値 (k1×k2×k3×k4×k5)					1.21	0.88	1.27		
訂正					0.99	0.71	1.03		

指定道路内の橋梁は、A~C条件において床版K値が指定道路の条件を満足しているか必ず確認すること。

「※」印：入力任意の項目です。（橋梁台帳等から読み取れない場合等）

- 重さ指定道路内のK値チェックを行わない。
- *重さ指定道路は下表の条件を満たしていなければなりません。やむを得ない場合（補修工事の途中など）以外はチェックを入れないで下さい。

注意事項 重さ指定道路内の橋梁について				
●新規橋車の自由走行が可能となる重さ指定道路内に存在する橋梁については、K値が下表の条件を満たしているか確認すること。				
●また、20t以下の重積割増がつかっていないことを確認すること。				
表7-18 新規橋車が通行可能となるK値				
部材	車種	最遠軸距	通行条件	K値
主桁	単車	d>6.5m	A・B	0.97以上
	連結車	d≦1.5m	A・B	1.15以上
床版	-	-	A~C	0.98以上